



उत्तर प्रदेश राज्य औद्योगिक विभाग

DISTINATION UTTAR PRADESH

Invest in BIDA





UP GLOBAL INVESTORS SUMMIT
10-12 FEBRUARY, 2023 | LUCKNOW
New India's Growth Engine



ウツタル・プラデーシュ州

医薬品

セクタ



食べ物
安全性
&
薬
管理

インドのシナリオ

インドの製薬産業は堅調かつ繁栄しており、現在その価値は 417 億米ドルに達します。

インドの国内医薬品市場は2024年までに420億650億米ドルに達し、2030年までにさらに1,200億米ドルに拡大すると予想されています。¹ 2021年には米ドルに達する可能性が高い

インドの医薬品市場は医薬品生産量で第3位にランクされています

そして金額では14位。業界の製造単位。 y には 3,000 のネットワークが含まれます 製薬会社と10,500社

インドは、USFDA が承認した施設の数で2番目に多い国です。

全体の収益に関して、市場は 2022 年 1 月に 13.9% 増加しました。

インドは世界の20%を輸出 ジェネリック ic の最大のプロバイダーとなる

世界的に

インドは世界で12番目に大きな医療品輸出国です。インドの麻薬と

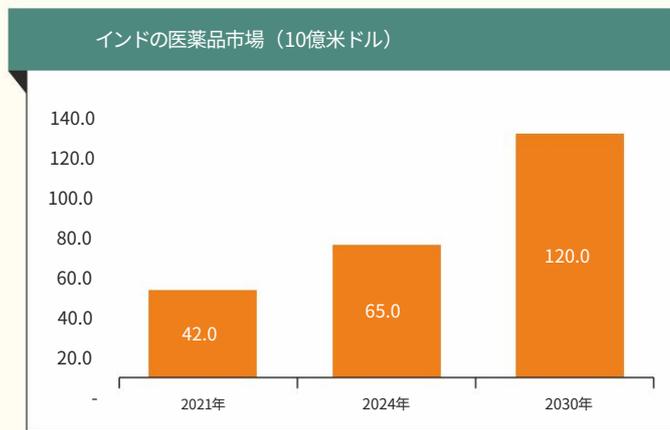
医薬品輸出は22年度は246億ドル、21年度は244億4,000万ドルとなった。

インドは世界トップ20に入る

医療機器市場と第4位の医療市場

デバイス

アジアの市場。



出典: IBEF

インドの製薬産業の主な部門は、ジェネリック医薬品、OTC 医薬品、

API/バルク医薬品、ワクチン、受託研究と製造、バイオシミラーと生物製剤。

インドからの医薬品輸出は200カ国以上に及ぶ

世界中を含めて

米国、西ヨーロッパ、日本、オーストラリアの高度に規制された市場。

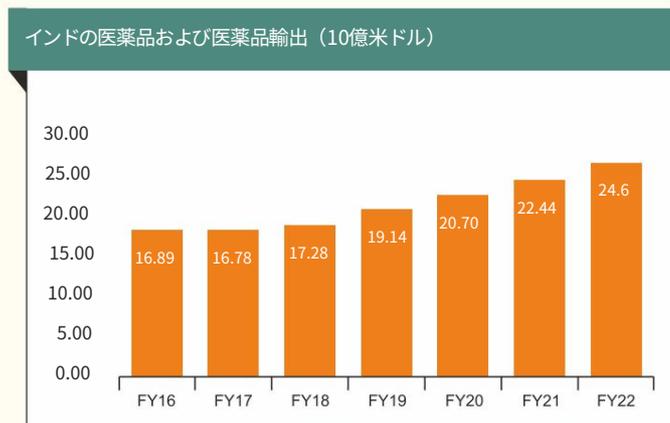
²

インドの医薬品省は10件のFDI提案を承認した

7,860億ルピー相当

ブラウンフィールドの下に流入

2021年から2022年にかけての医薬品プロジェクト（2021年12月まで）。³



出典: IBEF

1. インベストインディアとIBEF

2. インドで作る

3. 医薬品局年次報告書

Ø 2022-23年度連邦予算によると、32億1000万ルピー（4億1,920万米ドル）が研究のために確保されている
83,000億ルピー（108億6,000万米ドル） 保健家族省に割り当てられた医薬品規制システム
福祉。政府は、中央政府と州政府の両方のレベルで1,750億インドルピーを投じて国を強化するた
めの提案を承認した。 総支出額は

Øインドは最大 100% の FDI を提供しています。 グリーンフィールド製薬プロジェクトの自動ルート。
ブラウンフィールド製薬プロジェクトの場合、許可される FDI は最大 74% であり、それを 自動ルートと
超える場合は政府の承認が必要です。

Ø医薬品業界への累積FDI資本流入額は194億535万米ドル
2000年4月から2022年3月までの期間。

Øこの部門は生産部門によっても支えられています リンクされたインセンティブ (PLI) スキーム 国内を盛り上げるために
製造容量y。この計画の財政支出は21,940億ルピーです。 製品
この制度の対象となるのは次のとおりです。

Ⅰ. カテゴリ 1: バイオ医薬品、複合ジェネリック医薬品、特許医薬品 または麻薬が近づいている
特許失効、細胞ベースまたは遺伝子治療製品、希少疾病用医薬品、特別空薬 yカプセル、
複合体 X 賦形剤、植物性医薬品

II. カテゴリ 2: 医薬品有効成分 (API)、主要出発物質 (KSM)、医薬品
中間体 (DL)

III. カテゴリ 3: 再利用 医薬品、自己免疫薬、抗がん剤、抗糖尿病ウイルス薬、
薬剤、抗感染症薬、心血管薬、向精神薬、抗Retr
発酵ベースの 4 KSM/Dis 4



ウッタールプラデーシュ州のシナリオ

ウッタールプラデーシュ州がカウンターです y州で4番目に大きな州で3番目に大きな経済大国 やあ。16.5%の人々が住む
インドの人口、製造業の多い州のトップ5に入り、人口は2番目に多い

MSMEユニットの。最高のもので インドのすべての州の中で人口が最も多いのはウッタールプラデーシュ州です。
医薬品最大の市場。

ウッタールプラデーシュ州は強力な分布を持っています 71000 のヘルスケア製品と医薬品のネットワーク
卸売医薬品販売ライセンスと 108,000 の小売医薬品販売ライセンス。

対症療法を含む608の製造ユニットがある 、ホメオパシー、医療機器、
化粧品ユニット。同州には新たなユニットを設立する余地が大いにある。

州内には全人類のニーズに応える血液銀行が 467 か所ある 血液と血液成分。

ウッタールプラデーシュ州からの医薬品および医薬品の輸出 (百万米ドル)

商品	2018~19年	2019年~20年	2020年~21年
原薬、医薬品 中間体	62.35	50.59	77.97
医薬品製剤、 生物学的製剤	58.59	58.72	86.45

出典: インドからの医薬品および医薬品の州別輸出 (2018-2019 年から 2020-2021 年) (indiastat.com)

ウッタールプラデーシュ州からの薬用植物とハーブの輸出 (数百万ドル)

	2017-18	2018-19年	2019-20
ウッタールプラデーシュ州	6.02	3.56	4.01
インド	321.20	309.12	290.26

出典: ウッタールプラデーシュ州からの薬用植物およびハーブの輸出 (2017-2018 から 2019-2020) (indiastat.com)

州には 3 層構造がある 地域の保健センターを含む公衆医療インフラ
(CHC)、一次保健センター (PHC)、サブセンター (SC)。

ウッタールプラデーシュ州で活動するCHC、PHC、およびSCの数 (2021年3月31日現在)

サブセンター		PHC		CHC	
田舎	都会的な	田舎	都会的な	田舎	都会的な
20778	0	2923	593	753	12

出典: 州ごとのサブセンター (SCs)、プライマリヘルスセンター (PHC)、およびコミュニティヘルスセンター (CHC)の数
インドの農村部と都市部での機能 (2021年3月31日現在) (indiastat.com)

2021-22年度州予算によると、Rs. 320億9000万ドル (44億1000万米ドル)が医療と家族福祉部門に割り当てられた。このうち、Rs. 5,395 億
ルピー (7 億 4,330 万米ドル) が「国家農村保健ミッション」と「ルピー」に割り当てられました。「Ayushman Bharat Yojana」には
1,300億ドル (1億7,911万米ドル)。

政府は目標を設定しました 今後 5 年間で州内で 49 の看護学校と 49 の救急医療学校を機能させることを目的としていま
す。政府は、MBBS の 7,000 席、PG の 3,000 席、看護パラメディカルの 14,500 席な 席も大幅に増える
で、さまざまなコースを用意しています。これによりヘルスケア消費が増加し、最終的には製薬会社に利益をもたらします 3,600インチ

業界。

州は約 131 の大学が薬学士号を取得し、 約75の大学が提供しています
薬学修士号。

主要な投資の実現要因

利点 **ANTAGE**

インドの製薬促進インフラとして: 業界は輸出志向です 編、ウッタルプラデーシュ州には適切な輸出国がある

v黄金の四角形上に位置します。

v優れた道路網

v西側首都圏へのアクセス

v市場と豊富な資源への戦略的アクセス v国内最大の鉄道網 vインド東部の

ドの他の地域、中東、東南アジアを結ぶ主要な国内および y は 8,949 km 以上に及びます

び国際空港

国々。

vラクナウ、クシナガラにある 3 つの既存の国際空港

とバラナシ、そして今後もう一つ

ジュワール国際空港

vイラーハバードとハルディア港を結ぶ国立水路-1 (NW-1) 案

vデリー・ムンバイ産業大動脈 (DMIC) 集水域の 8.5%、アムリトサル・コルカタの 57%

UP の産業大動脈 (AKIC)

v西部専用貨物回廊 (WDFC) と東部専用貨物回廊の交差点

グレーター ノイダの回廊 (EDFC)

v港までの移動時間の短縮によるメリットを享受できる複合物流ハブ、工業団地など

v Poorvanchal 高速道路 (340 km) などの既存および最近開発された高速道路、

ブンデルカンド高速道路、ラクナウ・アーグラ高速道路など。 4車線

そして6車線の州高速道路。

国内および国際

空港。アラハバード、バラナシ、ハルディアを結ぶ北西 1 水路

港などにより、空、水、道路、鉄道の網の目のようなネットワークが形成されることが期待されています

試す

I. 州は MSME の数が国内で 4 番目に多く、かなりの量の化学物質を保有しています。

および医薬品原料ベース。

II. 医薬品はいくつかありますが、

州内の部隊のうち、ガーズィヤーバード、ゴータマ・

配合に含まれており、

主に西部地域に位置する

ブッダ・ナガル、および

ラクナウ、カンプール。

III. 2022年までに、ノイダのゴータマ・ブッダ・ナガルには、北インド初の仏陀ナガルが誕生すると予想されている。

医学

デバイスパーク このパークはヤムナ高速道路工業団地のセクター 28 に開発されています。

開発庁 (YEIDA) スペース。

研究開発拠点 BASE

州には熟練したマンポと未熟練のマンポが絶えず供給されている
そして薬学部。

私たちと権威ある研究機関

ウツタルプラデーシュ州は名門都市の本拠地 -を含む研究機関

v CSIR - 中央医薬品研究所 e、ラクナウ。

v 国立薬学教育研究研究所、ライバレリ。

v インド毒性研究所 (IITR)、ラクナウ。

v ラクナウの薬用芳香植物中央研究所。

v 国立植物研究所、ラクナウ。

v カンプルール州工科大学生物科学・生物工学部。

v バイオテクノロジー部門、MNNIT-アラハバード。

v インド工科大学 - バナーラス ヒンドゥー大学 (IIT BHU)。

v ラクナウのキングジョージ医科大学。

v サンジャイ・ガンジー大学院医学科学研究所、ラクナウ。

v インド薬局方委員会、 ガーシヤーバード。

v 国立生物学研究所、ノイダ。



1. 製薬パーク開発への奨励金:

- a. 土地購入ローンに対して最大50%の利子補助。
- b. c. 建物のローンに対して最大 60% の利子補助。コールドチェーン施設、ホステル・寮
住宅の建設にかかるローンに対して最大60%の利子補助
インフラストラクチャー。
共用施設 - 倉庫 &
労働者にとって
- d. 印紙税免除 - 開発者に 100%、最初のインスタンスの購入者に 50%
- e. 共通インフラストラクチャーと公共事業の開発のため、15%、最大 250 億円の資本補助金。

2. 各ユニットへのインセンティブ:

- a. 調達のための融資に対して最大 50% の資本利子補助 b. インフラ整備に対する利子補助金 (5%)
自己使用。
プラント&マシナーのY.
~のためのインフラ設備
- c. 産業研究、品質に対する融資に対する最大 50% の産業研究補助金
製品の改良と開発。
- d. 電気税100%免除
すべての新しいユニットに対して 10 年間
~から電気を生み出す
自家用の自家発電所。
- e. すべての新規ユニットに対する印紙税が 100% 免除されます。
- f. 工場および機械への投資に対する 15% の資本補助金 (最大 200 億円)。
- g. 環境保護補助金。
- h. 廃棄物ゼロのインセンティブ。
- i. 研究開発の設定に対して最大60%の資本利子補助。
- j. 最大 75%、最大 20 億円、臨床試験の償還。
- k. 契約/スポンサーによる研究の支援。
- l. 特許出願および国際認証を含む品質認証のサポート。
メートル。イノベーションやスタートアップの支援。
- n. 市場サポート - 国内外の展示会への参加を支援します。

3. ビジネスのしやすさ:

- a. シングルウィンドウとタイムバウンドクリアランス。
- b. FSDA は、投資家が州内で産業を設立するのを支援する部門のノード責任者を任命するものとする。
- c. FSDAチームによるプロジェクト計画の事前協議。

4. 医療機器、主要な出発材料および医薬品中間体の単位は、同様に適格です。

政策に基づくインセンティブ。



主要な投資機会

- Ø原薬およびジェネリック医薬品の製造: ウッタル プラデーシュ州は最大の消費者を提供しています ベース
国内消費向けであり、インドの主要港との接続が良好なため輸出指向となっている
生産。
- Ø分布 - ウッタルプラデーシュ州は人口が4番目に大きい州です 1平方当たりの人口密度は829人。
km。開発の余地は計り知れない 薬物の分布メカニズムの解明 全部の
薬の種類。
- Øウェルネス医薬品 - 業界はテクノロジーの進歩に対処しながら進歩し、拡大しています。
進歩すれば、生産と配布の余地がある 健康薬の。
- Ø教育とスキル開発 - 州は、次のような最大の労働力を提供しています。 人口の56%
働く年齢層では、一流の研究機関の本拠地 この分野の教育機関と教育センター、
州が拡大中 教育とスキル開発のエコシステムを構築し、人々のニーズに応えます。
業界。
- Ø研究開発
- I. 薬物検査技術
 - II. 研究受託製造サービス (CRMS)
 - III. 生物製剤およびバイオシミラー
 - IV. AYUSHと植物医学
- Ø医療機器の製造 - 新しい病院や介護施設が建設され、
既存設備の改修、医療品の製造
アップユニットY。 ウッタルプラデーシュ州のデバイスは有望です



ウツタルプラデーシュ州の主要人物

teva | api

 **UNICHEM**
LABORATORIES LTD.

Romsons
Sustaining the life force

 **IR@BIBCOL**
Open Access Institutional Repository
Bharat Immunological and Biologicals Corporation Limited
Department of Biotechnology
Ministry of S & T, Government of India

 **JUBILANT**
BIOSYS

 **VXL**
Vee Excel Drugs & Pharmaceuticals Pvt. Ltd.

 **HiGlance Laboratories**

ALBERT
DAVID

A Unit of
Kothari
Group
Imagine Inspire Deliver

 **Dr. Willmar Schwabe**
From Nature. For Health.

 **BIOGENIX**
INC. PVT. LTD.
IVD Excellence closer to you



 **SARAL**
Chemtech LLP
A WHO GMP CERTIFIED COMPANY

ORIFLAME
SWEDEN

 **Hindustan Unilever Limited**

LOTUS
HERBALS

PROFESSIONAL
3+
Dermatologically Tested Professional Skin Solutions

 **SBL**
WORLD CLASS
HOMOEOPATHY

投資家からの質問に対応するための連絡先の詳細

ノードオフィサーの名前 :ディネシュ・クマール・ティワリ

指定 : 副長官 (麻薬)

携帯番号 : 9935524199

電子メールID : dktdrug@gmail.com





免責事項

これ、ウツタルプラデーシュ州製薬セクター政策に関する文書単に読みやすくするために、オリジナルのヒンディー語から翻訳されています。ヒンディー語以外のユーザー向けで、より幅広いリーチを対象としています。翻訳の正確性には細心の注意を払っておりますが、相違がある場合はご了承ください。ここに規定する条項の解釈においては、「原本」官報掲載のヒンディー語版が優先されます。

住所 : 4th Floor Block A PICUP Bhawan, Lucknow, Uttar Pradesh 226010

電話番号 : +91-522-2720236,2720238

電子メール : upgis2023@investup.org.in | adv antageup@in bestup.org.in

ウェブサイト : <https://invest.up.gov.in/>

